

平成20年度鳥取県営企業会計
決算概要説明資料

企 業 局

平成20年度電気事業会計決算概要

1 事業の概要

電気事業は、7箇所の水力発電所と1箇所の風力発電所で発電し、発電電力は中国電力㈱に全量売却し、県内の各家庭や企業へ送られています。

2 収益的収入・支出

(1) 収支状況

平成20年度は、営業収益・営業外収益を合わせた収益は、前年度より64百万円増の1,837百万円でありました。

営業費用・営業外費用を合わせた費用は、前年度より35百万円減の1,727百万円となりました。

この結果、経常利益は110百万円と前年度に比べ98百万円の増となりました。

(2) 当年度純利益

固定資産売却益として8百万円を特別利益に計上し、また、過年度損益修正損として3百万円を特別損失に計上したため、当年度純利益は115百万円となりました。(前年度に比べ103百万円の増)

当年度未処分利益剰余金115百万円は、法定積立として減債積立金(企業償還原資)に積み立てます。

(3) 損益計算書

(税抜、単位:千円)

区分	20年度	19年度	差引
①営業収益	1,773,894	1,726,413	47,481
②営業費用	1,426,472	1,441,263	△ 14,791
営業収支(①-②)	347,422	285,150	62,272
③営業外収益	62,773	46,532	16,241
④営業外費用	300,385	320,160	△ 19,775
営業外収支(③-④)	△ 237,612	△ 273,628	36,016
営業収益+営業外収益(①+③)	1,836,667	1,772,945	63,722
営業費用+営業外費用(②+④)	1,726,857	1,761,423	△ 34,566
経常収支(①+③-②-④)	109,810	11,522	98,288
⑤特別利益	7,623	0	7,623
⑥特別損失	2,817	0	2,817
⑦収入合計(①+③+⑤)	1,844,290	1,772,945	71,345
⑧支出合計(②+④+⑥)	1,729,674	1,761,423	△ 31,749
⑨当年度純利益(⑦-⑧)	114,616	11,522	103,094
⑩前年度繰越利益剰余金	0	0	0
当年度未処分利益剰余金(⑨+⑩)	114,616	11,522	103,094
処分			
減債積立金	114,616	11,522	103,094
繰越利益剰余金	-	-	-

※ 販売電力量

水力発電

(単位:MWh、%)

区分	20年度	19年度	差引	前年度比	備考
販売電力量	138,467	124,986	13,481	110.8	

風力発電

(単位:MWh、%)

区分	20年度	19年度	差引	前年度比	備考
販売電力量	4,524	5,033	△ 509	89.9	

3 資本的収入・支出

(税抜、単位：千円)

区分	20年度	21年度	差引	備考
①資本的収入	84,781	65,871	18,910	
企業債	0	0	0	
建設助成金	22,956	5,871	17,085	NEDO補助金
固定資産売却代金	1,825	0	1,825	
他会計への長期貸付金償還金	60,000	60,000	0	
②資本的支出	747,482	738,176	9,306	
建設改良費	121,822	49,721	72,101	
企業債償還金	625,660	688,455	△ 62,795	
他会計への長期貸付金	0	0	0	
差引(①-②)	△ 662,701	△ 672,305	9,604	

建設改良では、既設水力発電所の改良工事等に44百万円、袋川発電所建設のための殿ダム建設負担金に67百万円などを支出しました。

建設改良費の内訳（主なもの）

(単位：千円)

水力発電設備及び業務設備

 日野第一発電所（主変圧器改良工事） 23,096

 日野第一発電所（菅沢ダム施設改良負担金） 643

 企業局本局他（電気保安通信設備更新） 9,434

建設仮勘定

 袋川発電所・殿ダム建設負担金 67,017

4 企業債借入状況

(単位：千円)

区分	前年度末残高	当年度償還額	当年度借入額	当年度末残高	備考
企業債元金	5,648,910	625,660	0	5,023,250	

平成20年度工業用水道事業会計決算概要

1 事業の概要

工業用水道事業は、企業等が必要とする低廉で豊富な水を安定して供給するため、米子市、境港市、日吉津村を給水区域とする日野川工業用水道事業と鳥取市を給水区域とする鳥取地区工業用水道事業の2事業を実施しています。

日野川工業用水道事業は、昭和43年に給水を開始し、平成20年度末現在、84社に49,400m³/日を給水しています。

鳥取地区工業用水道事業は、平成10年に給水を開始し、平成20年度末現在、3社に10,700m³/日を給水しています。

2 収益的収入・支出

(1) 収支状況

平成20年度の営業収益・営業外収益を合わせた収益は、658百万円と前年度に比べ76百万円の減となりました。これは、道路改良工事に伴う配水管移設にかかる補償金の減により営業外収益が減少したことによります。

営業費用・営業外費用を合わせた費用は、632百万円と前年度に比べ110百万円の減となりました。これは、上記と同様の理由により修繕費が減少したことによります。

この結果、経常収支は、26百万円となりました。

(2) 当年度純利益

過年度損益修正により特別利益を10百万円、特別損失を4百万円それぞれ計上したため、当年度純利益は32百万円となりました。

この結果、当年度未処理欠損金は1,768百万円となりました。

(3) 損益計算書

(税抜、単位：千円)

区分	20年度	19年度	差引
①営業収益	607,157	603,767	3,390
②営業費用	475,888	577,937	△ 102,049
営業収支(①-②)	131,269	25,830	105,439
③営業外収益	51,115	130,717	△ 79,602
④営業外費用	156,358	164,641	△ 8,283
営業外収支(③-④)	△ 105,243	△ 33,924	△ 71,319
営業収益+営業外収益(①+③)	658,272	734,484	△ 76,212
営業費用+営業外費用(②+④)	632,246	742,578	△ 110,332
経常収支(①+③-②-④)	26,026	△ 8,094	34,120
⑤特別利益	9,877	0	9,877
⑥特別損失	3,913	0	3,913
⑦収入合計(①+③+⑤)	668,149	734,484	△ 66,335
⑧支出合計(②+④+⑥)	636,159	742,578	△ 106,419
⑨当年度純利益(損失)(⑦-⑧)	31,990	△ 8,094	40,084
⑩前年度繰越欠損金	1,799,655	1,791,561	8,094
当年度未処理欠損金(⑩-⑨)	1,767,665	1,799,655	△ 31,990
翌年度繰越欠損金	1,767,665	1,799,655	△ 31,990

※給水の状況等

(単位：m³、千m³)

区分	項目	20年度末	19年度末	差引	備考
日野川工業用水道	契約給水量(m ³)	49,400	49,500	△ 100	
	契約企業数	84	84	0	
	年間給水量(千m ³)	13,506	13,607	△ 101	
鳥取地区工業用水道	契約給水量(m ³)	10,700	10,000	700	
	契約企業数	3	2	1	
	年間給水量(千m ³)	2,972	3,403	△ 431	

※給水料金単価

日野川	(既設分)	20円/m ³
	(石州府分)	50円/m ³
鳥取地区		45円/m ³

3 資本的収入・支出

(税抜、単位:千円)

区分	20年度	19年度	差引	備考
①資本的収入	325,992	219,414	106,578	
企業債	99,000	2,700	96,300	
出資金	186,766	176,090	10,676	一般会計からの鳥取工水への出資金
建設助成金	40,226	40,614	△ 388	国庫補助金(鳥取工水)
固定資産売却代金	0	10	△ 10	
②資本的支出	486,009	519,184	△ 33,175	
建設改良費	147,401	191,696	△ 44,295	
企業債償還金	338,608	327,488	11,120	
差引(①-②)	△ 160,017	△ 299,770	139,753	

建設改良では、鳥取工水の水源となる殿ダム建設負担金134百万円、日野川工水の菅沢ダム施設改良負担金5百万円等、計147百万円を支出しました。

4 借入金等の状況

(1) 企業債

(単位:千円)

	前年度末残高	当年度借入額	当年度償還額	当年度末未償還残高
日野川	3,148,015	0	151,842	2,996,173
鳥取地区	3,841,456	99,000	186,766	3,753,690
計	6,989,471	99,000	338,608	6,749,863

(注)菅沢・殿ダム負担金等の充当財源として借入

(2) 一般会計長期借入金

(単位:千円)

	前年度末残高	当年度借入額	当年度償還額	当年度末未償還残高
日野川	682,000	0	0	682,000

(注)石州府への給水事業で発生する赤字分を借入

(3) 一般会計出資金

(単位:千円)

	前年度末繰入累計	当年度繰入額	当年度末累計額
鳥取地区	870,244	186,766	1,057,010

(注)企業債の元金償還金相当額について出資を繰入

平成20年度埋立事業会計決算概要

1 事業の概要

埋立事業は、現在までに、境港外港昭和地区、米子旗ヶ崎地区、境港外港竹内地区の3箇所を埋立造成しました。分譲は昭和地区、旗ヶ崎地区はほぼ完了しています。竹内地区は、平成20年度末現在、企業用地83.1haのうち53.9haを売却し12.1haを長期貸付しており、未利用地は、17.1ha(20.6%)となりました。

米子崎津地区については、平成11年に(財)米子崎津地区開発促進公社の解散に伴い、粗造成された用地24.5haを取得しました。

また、附帯事業として竹内地区内で温泉施設「みなと温泉館」を平成10年から開館し、管理運営を県観光事業団に委託してきましたが、平成17年4月から鳥取県ビルメンテナンス協同組合を指定管理者として指定し、平成20年度の入館者数は100,110人で、前年度より0.7%増加しました。

2 収益的収入・支出

(1) 収支状況

平成20年度の営業収益と営業外収益を合わせた収益は、150百万円と前年度に比べ31百万円減収となりました。

営業費用と営業外費用を合わせた費用は、113百万円と前年度に比べ46百万円の減額となりました。

これら収益の減収・費用の減額は、当年度の退職者がいなかったため退職給与金の他部局負担分がなかったことによります。

この結果、経常収支は、37百万円と前年度に比べ15百万円の増となりました。

また、一般会計借入金利息の免除に伴い、特別利益2,247百万円を計上したため、当年度純利益は2,284百万円となりました。

当年度末未処分利益剰余金467百万円は、法定積立として利益積立金に積み立てます。

(2) 損益計算書

(単位：千円)

区分	20年度	19年度	差引
①営業収益	121,790	120,485	1,305
②営業費用	113,142	107,786	5,356
営業収支(①-②)	8,648	12,699	△4,051
③営業外収益	28,351	60,558	△32,207
④営業外費用	257	51,152	△50,895
営業外収支(③-④)	28,094	9,406	18,688
営業収益+営業外収益(①+③)	150,141	181,043	△30,902
営業費用+営業外費用(②+④)	113,399	158,938	△45,539
⑤経常収支(①+③-②-④)	36,742	22,105	14,637
⑥特別利益	2,247,023	0	2,247,023
⑦特別損失	0	0	0
⑧当年度純利益(⑤+⑥-⑦)	2,283,765	22,105	2,261,660
⑨前年度繰越欠損金	1,816,804	1,838,909	△22,105
当年度末未処分利益剰余金(⑧-⑨)	466,961	1,816,804	-
(19年度は未処分欠損金 ⑨-⑧)	466,961	1,816,804	-
処分			
利益積立金	466,961	-	-
繰越利益剰余金	0	-	-

(3) 業務状況

①新規の土地売却状況

なし

②過年度の割賦販売による収入状況

割賦販売者数	本年度割賦金 収入額(千円)	契約年度	割賦終了年度	割賦年数	備考
6社(竹内)	38,017	H15~17	H21~27	6~10年割賦	

③長期貸付の状況

貸付者数	年額(千円)	面積(m ²)	期間	備考
7社(竹内6社、旗ヶ崎1社)	83,773	130,768	H13~H39	

3 資本的収入・支出

(単位:千円)

区分	20年度	19年度	差引	備考
①資本的収入	0	3	△ 3	
固定資産売却代金	0	3	△ 3	
②資本的支出	60,000	68,424	△ 8,424	
建設改良費	0	8,424	△ 8,424	
他会計借入金償還金	60,000	60,000	0	
差引(①-②)	△ 60,000	△ 68,421	8,421	

4 借入金等の状況

(単位:千円)

事 項	前年度末残高	当年度借入額	当年度償還額	当年度末残高	備考
一般会計からの長期借入金	7,932,696	0	0	7,932,696	
電気事業会計からの長期借入金	180,000	0	60,000	120,000	

(一般会計借入金の内訳) 竹内団地 4,275,932 千円
 米子崎津団地 3,656,764 千円
 計 7,932,696 千円